



くの設置、緊急箇所整備予算の増額を要望したが、その対応は。

答 現地については、地元調整ができておらず、ガードレール設置に至らなかった。その後、地元調整が調い、ガードレールを設置した。また、5月末までに市道に接するため池の実態調査を実施した。今後も、自治会等と連携を図りながら、緊急度の高いところから順次計画的に整備していく。

芦田町ほ場整備(風呂地区)について (日本共産党)

問 ①当事業の認可はいつか。②総事業費9090万円が41・7%に激減した理由は。③6本の市道を建設するための用地買上げ予算と建設予算は。④農道が住居への進入路となる計画だが、⑤地権者の負担は。

答 ①2006年6月に県の施行同意を得て着手した。②当初計画は農道だったが、道路改良を効率的・効果的に行うことができ、土地改良法上も問題がないため、ほ場整備事業と一体的に整備したためである。③用地買収費などに

約1300万円、建設費に約1億5000万円を見込む。④整備されたほ場への進入を確保するため計画した。⑤分担金は条例等に基づき総事業費の20%を徴収する。

福山駅前地区の再開発事業の進捗状況は (水曜云)

問 東桜町地区市街地再開発事業では、地下の工事に伴い駅前地下歩道や市営地下駐車場との連結が予定されているが、来年4月のオープンに合わせて地下歩道を整備する考えは。また、伏見町地区市街地再開発計画の内容と行政としての支援体制は。



東桜町地区市街地再開発事業完成予想図

答 地下歩道は、安全で快適な歩道となるよう整備方法を検討

している。また、伏見町の再開発事業は、本年5月、新たなコーディネーターを決定され、今後、その適切な提案や助言を受けながら、旧計画の検証、評価を行うとともに、地権者の意向等を調査し、基本計画策定に向け取り組むと聞いている。引き続き、状況に応じた効果的な支援を行っていく。

重伝建の選定に向けた補完調査は (明政会)

問 重伝建の選定に向けて調査委員会を設置し、6月から補完調査を行っているが、長年選定に向け努力しながら、なぜ今になって再調査を行うのか。また、今後申請を予定している範囲の基本的な考え方は。

答 鞆町の町並み保存調査は9・10年度に実施したが、このたびの補完調査は、最近の重伝建選定で重要視されている町並みの特性をより明らかにする必要があると判断したことによるものである。範囲については、市伝統的建造物群保存地区を基本にしつつ、関係機関と連携、協議し、早い選定を受けられるよう取り組む。

お知らせ

次の定例会は、8月31日(火)から9月16日(木)で開催される予定です。代表質疑および一般質問などは、9月6日(月)から9日(木)までを予定しています。

なお、企業会計決算特別委員会が、9月17日(金)から22日(水)で開かれる予定です。

詳しい日程は、ホームページでご覧いただくか、議会事務局☎(084)928-1136へお問い合わせください。

新たに特別委員会を設置

議会基本条例と政治倫理条例の制定に向けた調査研究をするため、特別委員会を設置しました。

議会基本条例等検討特別委員会

- | | | |
|--------|--------|-------|
| 井上 博之 | 和田 芳明 | 大田 祐介 |
| 高橋 輝幸 | 熊谷 寿人 | 瀬良 和彦 |
| ○法木 昭一 | 早川 佳行 | 池ノ内幸徳 |
| 小川 勝己 | ◎小林 茂裕 | 川崎 卓志 |
| 村井 明美 | | |

(13人)

(◎委員長 ○副委員長)